

学 科		作業療法士学科		科 目 区 分		基礎分野		授業の方法		講義	
科 目 名		国際教育学		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		15 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		夜間部2年		学期		後期		教室名		803	
担 当 教 員		小松真奈美									
実務経験とその関連資格		看護師として、大学病院で3年間勤務。その後、英会話学校、医学、看護系大学及び専門学校で、医学、看護、福祉英語を担当。大阪府内の病院の国際外来で医療通訳として、外国人医療に携わる。国際臨床医学学会会員。ICM認定医療通訳士(英語)									
《授業科目における学習内容》											
Listening Speaking Vocabulary Reading をバランスよく授業に取り入れます。 医療現場で遭遇する様々な場面を通して、必要な英語の医学用語、フレーズを学習します。 ペアワークなどで英語を聞き、話すということに慣れ、将来的に国際的に活躍できる医療従事者を目指します。											
《成績評価の方法と基準》											
定期試験60%、実技試験20%、小テスト20%											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
教科書:Medical English Communication 医療英語コミュニケーション(国際教育社)											
《授業外における学習方法》											
教科書の予復習、高校までの英語を復習しておくこと											
《履修に当たっての留意点》											
小テスト、ペアワーク、グループワーク、授業内でのロールプレイ発表や授業態度などを重視します。苦手意識のある方もいるかもしれませんが、まずは楽しく英語に慣れていくことが必要になります。											
授業の方法	内 容					使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容			
第1回	授業を通じての到達目標	聞き取れなかった時の表現が使える。				教科書:医療英語コミュニケーション		特になし			
	各コマにおける授業予定	聞き取れなかった時の表現・初診時の対応									
第2回	授業を通じての到達目標	症状(痛み)の表現・体の外部の名称が英語で言えるようになる。				教科書:医療英語コミュニケーション		特になし			
	各コマにおける授業予定	Chapter 3 症状(痛み)									
第3回	授業を通じての到達目標	痛みの表現以外の症状が英語で言えるようになる。				教科書:医療英語コミュニケーション		(復習課題)小テスト			
	各コマにおける授業予定	Chapter 4 症状《その他》									
第4回	授業を通じての到達目標	診察時の表現、ポジショニングが英語で言える。				教科書:医療英語コミュニケーション		(復習課題)小テスト			
	各コマにおける授業予定	Chapter 7 身体計測・診察時の表現									
第5回	授業を通じての到達目標	骨の名前、松葉杖の使い方の表現が英語で出来る。				教科書:医療英語コミュニケーション		(復習課題)小テスト			
	各コマにおける授業予定	Chapter12 骨の名前 /14 リハビリテーション(2)									

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	英語ロールプレイ スキット作成が出来る	教科書:医療英語コミュニケーション	(復習課題)小テスト
	各コマにおける授業予定	ロールプレイ準備 (スキット作成)		
第7回	授業を通じての到達目標	医療場面でのロールプレイを英語で出来る	教科書:医療英語コミュニケーション	ロールプレイ原稿の完成
	各コマにおける授業予定	ロールプレイ(本番)		
第8回	授業を通じての到達目標	これまで習った単語・フレーズが英語で表現できる	教科書:医療英語コミュニケーション	特になし
	各コマにおける授業予定	これまでの授業の総復習・関節可動域・臓器の名称		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			